



～所感～

小田原児童相談所 子ども支援課長 大澤弘美

平成27年6月に茅ヶ崎保健福祉事務所（生活保護や女性保護業務）から転勤してきました。児童相談所への異動は3回目で、小田原児童相談所へは2回目、9年ぶりに戻って来ました。里親会の皆様も大分替わられていましたが、懐かしい方々もいらっしゃり、当時の思い出がよみがえります。

子ども支援課長として、3日里親・週末家庭懇談会や行事等に出席するたびに感じることがあります。それは里親さん達がとても嬉しそうに、時には感極まって、里子との交流状況をお話する様子、うらやましくもあり、時に嫉妬心さえ覚えます。そこまでに至るまでには、相当のご苦労があったり、辛かったり、一杯泣いたり、笑ったり、悩んだり・・・があったと思います。何年間もつき合い、つくづく息の長い取組みだと思います。

先日、3日里親反省会で「特別どこかに連れて行くで

もないし、特別何するでもないんですよ。」とのお話をされた方がいらっしゃったが、まさに「何するでもないゆつたりと里親さん宅での暖かい空気を共有する」というのも里子にとっては、大切な時間の過ごし方かなと感じます。



さて、平成28年6月児童福祉法改正により、里親制度の普及促進及び里親支援の拡充が必要との考え方が示され、里親制度の広報啓発等による里親開拓から、里親と児童のマッチング、里親に対する訪問支援等による自立支援まで、一貫した里親支援を児相の業務として法定化されました。県西地区は、なかなか他地区に比べて、里親さんが増えません。皆さんの仲間が増えるよう、児童相談所としても、より一層の普及啓発にがんばっていきたいと思います。ひいては社会的養護を必要とする子どもたちのために・・・。

～感謝を込めて～

ゆりかご園 里親支援専門相談員 安立七恵

吹く風も柔らかな季節となりました。里親支援専門相談員になって早くも1年が経ちました。この1年で西湘なでしこ会の皆さんを始め、多くの里親の皆さんに出会い、そして多くのことを学ばせて頂きました。里親の皆さんの喜びや苦労など、私も一緒にそのことを共感させて頂き、そして何か少しでもお力になれればとやってまいりましたが、逆に里親の皆さんからのお心遣いを頂くことが多く、日々頭が下がる思いです。

さて、前年度は自己の中で勉強の1年と決めて活動してきました。恥ずかしながら、里親制度について全く分かっていなかったので、色々な地区的里親講座に参加するとともに、認定前研修にも参加させて頂き、まずは里親制度とは何かを学ぶことから始めました。勉強してみて、より一層、多くの子ども達に里親の皆さんと関わって欲しいと思うようになりました。それと共に、里親の皆さんがどのような想いをお持ちなのか、3日里親として活動している里親の皆さんや委託や養子縁組した子ど

もを育てている里親の皆さんの里親家庭での子どもとの生活について、知りたい、知る必要があると思いました。その中で始めたのが、里親宅家庭訪問です。まずは、はじめましての挨拶から。顔を覚えて頂き、何かあった時の相談先の一つになればと思い、一軒一軒回らせて頂いています。どなたも温かく迎えて頂き、本当に嬉しいです。そしてどなたも、子ども達に対して、とても丁寧に向き合い、先を考えて色々なことを教えてくれていることが分かりました。交流している子どものことを話す里親の皆さんからは子どもへの溢れんばかりの愛情を感じました。

この愛情がもっと多くの子ども達に届けられたら・・・それには里親の数を増やしていくかなければならないと思い、今年度は種まきの1年にしたいと思っています。

—子どもたちのしあわせのために—まずは里親制度を知ってもらうことから。

今年度も精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



～西湘なでしこ会 平成28年度を振り返って～

4月16日 定期総会

4月16日 里親研修会

4月29日 箱根恵明学園『小涌谷子どもゲーム大会』

5月29日 小田原市子育て支援フェスティバル

小田原市主催の子育て支援イベントで、毎年5000名以上の保護者と子どもたちが来場し、子育てを応援するいろいろな団体が遊びと情報を提供します。私たちは折り紙で作る風車で子どもたちと触れ合いました。また、掲示物を使って里親の啓発活動も行いました。フェスティバルの終わるころには、たくさんの子どもたちが風車を手にしてくれていてうれしくなりました。

6月27日 広報なでしこ（第51号）発行

7月22日 月あかりの会（おやじの会）

8月2日 パン教室

9月3～4日 一泊研修

今回は先輩里親から自立後の里子との関わりについて学びました。その後湯河原に一泊して親睦を深めます。児童相談所の人たちや里親支援相談員さんなどと共に楽しいひと時を過ごしました。

9月22日 城山ふれあいバザール

11月7日 小田原短大里親体験談

100名を超える幼稚園、保育園の先生などを目指す学生さんに里親制度の説明と里親の体験談を話しました。みんな熱心に耳を傾けてくれました。将来どなたか里親になりたいと思ってくれたらいいですね。

11月12～13日 第61回全国里親大会・第62回関東甲信越静里親研究協議会（写真①）

茨城県水戸市で開催されました。西湘なでしこ会から5名が参加しました。基調講演では、元茨城県高萩市長の草間吉夫氏が「私が歩んできた道」と題して、自身の施設で生活経験、里親との出会いを話されました。

11月19日 第29回神奈川県里親大会（写真②）

「あなたをずっと見守っているよ。」～家庭による養育から社会による養育まで。社会的擁護の真ん中で里親養育を考える～をテーマに二宮町のラディアンで開催されました。

11月23日 酒匂ゆりかご祭り（写真③）

12月18日 施設と里親交流事業「みんなであそぼう」（写真④⑤）

4施設の子どもたちが職員さんに連れられて遊びに来てくれます。大人とペアを組んでチームを作ってミニ運動会をします。お弁当を食べおわったら、サンタさんがやってきました。プレゼントをもらってみんな笑顔になりました。

12月18日 月あかりの会（おやじの会）

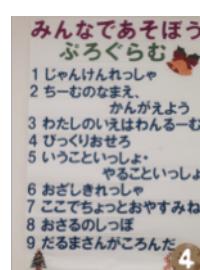
1月11日 里親講座

1月24日 なでしこサロン新年会

研修を行いました。その後の昼食はお菓子や果物でテーブルがいっぱいになり、お弁当を広げると里母ばかりだったのでまるで女子会のようになりました。

※ その他

県里親会理事会、ゆりかご園評議委員会、県会長会
このほか各所より研修の案内が届きました。





パートナー自慢！！

会員の皆さん、それぞれのパートナーを自慢します。



○H家

妻から夫へ→自分のことより人のことを第一に考える
(だからいつも忙しい)。忍耐強い(だから結婚生活
を37年耐え続けることができた)。
夫から妻へ→うちの奥さんはこみかん(ほんみかん)
のような人(最近なかなか手に入りません)。

○T家

夫から妻へ→素朴なところ
妻から夫へ→仕事熱心なところ

○T家

妻から夫へ→機械もの全般なんでも直してくれて修理
屋さんいらず。私の手話サークル活動も積極的に手伝
ってくれてサークルのメンバーにも大人気。最近ちょ
うとだけお料理にも目覚めました。

夫から妻へ→なんでも一生懸命。がんこ。元気

○T家

他人の良いところを上げてくださいと言われると、少
し頭の中で整理しないと出てこないものです。逆に悪いところと聞かれれば、すぐに言えるものです。
夫から妻へ→我が家のお嬢の良いところは、小さなことでもコツコツと根気よく積み重ねていけるところ
妻から夫へ→うるさく思うことはよくありますが、優
しく思いやりのあるところです。

○H家

妻から夫へ→調べ物が得意なので、些細なことから大
切なことまですぐに調べてくれるのでとても助かりま
す。

夫から妻へ→毎日おいしいご飯を作ってくれます。

○N家

妻から夫へ→建具、家電、自転車、オートバイなどな
ど、ちょっとしたことは修理してくれるので、我が家

の便利屋さんです。家族想いです。特に奥さんを大切
にしてくれているのを感じます。

夫から妻へ→料理が上手。家のことをまかせっきりで
自分は家のことは何もわかりません。だから外に出で
いられます。助かってます。

○M・S家

片方が「実行すると決めたことには線密な計画を立て
て初志貫徹！」のとき。もう片方は「じゃあいいか
～」と適当！バランスが取れているといったところで
しょうか。

○Y家

妻から夫へ→常に謙虚でマイペース。結婚するときの
たった一つの約束、「私のことを『お前』と言わない
で」をずっと守ってくれています。

夫から妻へ→常に前向き、プラス思考。健康オタク、
これが一番ありがたく、感謝、感謝です。

○N家

妻から夫へ→とても優しくて子煩惱。子ども love♡で
す。

夫から妻へ→料理が上手で、幼稚園のお弁当のキャラ
弁で賞を取ったほど。

○Y家

妻から夫へ→パズルが好きでいつも頭を使っています。
家庭菜園をしてくれて新鮮な野菜を食べさせてもらっ
ています。

夫から妻へ→いなくては困る！



○T家

妻から夫へ→優しい人。お願ひす
ると何でもやってくれます。

夫から妻へ→安心して任せられ
る人。

子どもたちのギャラリー

Mちゃん（小4）



Tちゃん（小1）



Kちゃん（3才）



Aちゃん（小5）



～リレー雑感～



C.T.

先日、うれしい手紙を里子のAちゃんからもらいました。インフルエンザで学校を休んでいる時でした。ぐつたりして、いつも元気なAちゃんが、おとなしく寝ているので、とても心配しました。3日目あたりから少し元気になった頃です。「後で読んで。」と買い物に行く時、“かかやん（お母さん）へ”と書かれたかわいい封筒をくれました。イラスト入りの手紙でした。

「かかやん、うち とってもうれしい。だって、うちこんなすてきな カカやんと あえて、とってもたのしいからだもん。ずっと うちのかかやんでいてね。いつも カカやん、げんき、つかれたときもあるな。うちも

そう。1週間うちのこと かいごしてくれて ありがとう。とてもうれしい、ずっと かぞくだから。」漢字が少なく、ちょっと読みにくかったです、嬉しくて しばらく眺めてしまいました。

我が家へきて、早いもので もうすぐ9年。背も伸び、体格も良くなりました。しかし言葉遣いが悪くなってきました。でも、かわいい笑顔のAちゃんです。独特で大きな笑声で、よく笑うので私も楽しくなります。私の知らない歌も よく歌っています。

(返信)「勉強が苦手でも いいよ。こちらこそ、我が家に来てくれて本当にありがとうございます。幸せをありがとうございます。」そんな思いにひたったひと時でした。

ありがとう!

～養育体験（MさんとMちゃん）～

M.N.

実子のMさんと里子のMちゃん。まぎらわしいですが、二人ともイニシャルがMです。

この二人はとても仲の良い歳の離れた姉妹のようです。先日、Mちゃんがピアノの発表会に着ていく服が嫌だと言って、当日の朝着替えたいとぐずぐずしていました。私がいくら言っても聞きません。そこへMさんが現れ、それまでの経緯を知ってか知らずか「その服かわいいねえ。似合ってる」とひとこと言うと、「やっぱりこれでいい」とあっさりご満悦の表情です。



夫は唖然。出る幕がありません。

Mちゃんは男の子みたいに活発で元気いっぱいな子どもですが、結構おしゃれなところがあります。社会人であるMさんにちょっぴり憧れています。

春休みは、仕事のある夫を残して毎年女子だけで旅行します。今年は大阪へ行きました。Mちゃんの成長を楽しみにしていたおじいちゃんとおばあちゃんに久しぶりの再会をしました。おばあちゃん特製のお好み焼きをごちそうになって、Mさんの仕事の話、Mちゃんの学校の話で盛り上りました。

高齢とはいえ、二人のとても元気な様子に安堵し、今度は家族みんなで行こう！ と留守番をしてくれた夫に大阪のお土産を渡したMさんとMちゃんでした。

賛助会員募集中！！

募集中！



様々な事情で家族と暮らせない子どもたちを実親に代わって家庭に迎え入れ生活しているのが私たち里親です。そして子どもたちの幸せを求めてともに助け合い学びあうために、また様々な活動ができるよう「里親会」を作りました。

養育研修やレクリエーション、児童養護施設児童との交流、里親制度の啓発活動、広報誌の発行などを行っています。

里親制度を多くの皆様に知っていただき、さらに充実

した活動を続けるために皆様のお力添えをお願いいたします。

会費：一口（年額）2,000円

ご賛同くださる方は会費を西湘なでしこ会の銀行口座にお振込みください

<振込み先>

横浜銀行 小田原支店 普通 口座番号 1059438

西湘なでしこ会 会長 本多一重

会員になっていただきますと

○ 西湘なでしこ会行事のご案内をいたします。

○ 里親会の広報誌をお送りいたします。

<編集後記> 12月の「みんなであそぼう」では、少々張り切りすぎたのか、筋肉痛になってしまいました。暖かくなってきたので適度な運動を始めたいですね。